

豊富な資料とスライドで明らかにされた弥生墳墓と古墳 甘粕会長による「弥生・古墳講座」開催

昨年12月21日（日）、新潟市歴史博物館（みなとぴあ）を会場に、第9回弥生・古墳講座「越後における古墳の成立～高地性集落から前期古墳へ～（甘粕会長とともに）」を開催しました。

久しぶりの講座でしたが、新しい参加者も多く、新鮮な雰囲気の中でお話は進みました。まず、新潟県の中での弥生時代の墳墓について説明がありました。新潟市古津八幡山の墳丘墓（前方後方形、周溝のみ）、長岡市の藤ヶ森墳丘墓、寺泊屋鋪（やしき）塚墳丘墓を図とともに具体的に解説され、その後関連した他県の弥生墳丘墓の紹介と続けました。



屋鋪塚と同様、単独の墳丘墓として発見されているものに丹後赤坂今井墳丘墓があります。一辺40mと屋鋪塚よりは規模が大きいのですが、形や主体部はよく似ています。また、出雲の四隅突出型の墳丘墓や岡山県倉敷市の楯築（たてつき）墳丘墓などの地域的特色のある墳丘墓が紹介されました。さらに、方形周溝墓と墳丘墓が混在する形の福井県の例などが紹介されました。その後、県内の前期古墳（三王山11号墳）などと周辺の前古墳を比較しながら、



県内への古墳祭祀の導入についての解説がありました。最後に甘粕会長自らが撮り集めたスライドの解説があり、大変リアルなお話となりました。専門的な部分も図やスライドを入れ、初めての人にも興味がわくものとなりました。

しかし、用意された資料やスライドがあまりに多く、時間内ですべてを消化することができませんでした。この続きは4月26日（日）に開催することになりました（4ページ参照）。皆さん、ふるってご参加下さい。（川上真紀子）

..... 【参加者の感想】

- 弥生の墳丘墓から古墳に移り変わる様子を順次説明いただいて有意義でした。
- 弥生から古墳時代にかけての墓制の移り変わりや古墳の形態、分布から人々の動き、ヤマト政権の勢力の拡大などが見えてくるということがよく分かり、とてもよい勉強をさせていただきました。
- 古墳の規模により、ヤマト政権の勢力の判断基準ともいえるものを読み取れることができるのお話をお聞きして、大変有意義でした。
- 今回のようなことについての講演は初めてでした。歴史をふり返り学ぶことは何か有意義に思え、参加しました。分からない部分も多々ありましたが、未知の部分として勉強したいと思いました。
- 話の中で、古墳を通して格差があった事、その事を通して政権、力を示していた事を知り、大変おもしろかった。
- 地形の異なる所なのに、古墳の設計図のコピー（相似）に驚きです。
- 古墳という視点から新潟を理解するのもおもしろいです。

【各地の催しもの情報】

文化財を愛する人たちが集まる全国大会

「文全協第40回記念・京都大会」にぜひご参加下さい！

各地ですばらしい遺跡の発見が相次いでいます。ところが、私たちを驚かせるような発見の中で、実は多くの遺跡が破壊されています。新潟県でも1984年以来、大きな保存運動が次々と起こり、貴重な成果を積み上げてきましたが、その運動の中心となってきたのが、県内に住む文化財保存全国協議会（略称、“文全協”）のメンバーでした。文全協は、破壊の危機にある列島各地の遺跡を守るため、研究者と市民が手を結んで、ともに学び、行動する日本唯一の全国組織です。結成は1970年にさかのぼり、以来たゆまず活動を続けてきました。新潟県の遺跡を守るためにも、文全協は大きな役割を果たしてきたのです。

その文全協が全国各地を会場に毎年開催してきた大会が、今年40回目を迎えます。場所は記念大会にふさわしい「京都」です。延暦13(794)年、桓武天皇による平安京遷都以来の1200年の都を舞台に、時代は古代から近代、そして京都を中心にしながらも東アジア全体へと視野を広げて「都市遺跡」を考えます。全国で遺跡の調査や活用の最前線で活躍される方々の報告を聞くまとないチャンス。もちろん、大会に先立って宇治方面をじっくり巡る見学会も予定されています。この機会に古都「京都」の遺跡を堪能してみませんか？

見学会・大会ともに文全協の会員でなくても参加可能です。詳しい要項は4月中旬に発表される予定ですので、興味のある方は文新協事務局までお問い合わせ下さい。もちろん文新協のホームページでもご紹介する予定です。みなさん、ふるってご参加下さい！

文化財保存全国協議会第40回記念・京都大会

大会テーマ「都市遺跡の調査・保存・活用・整備」

日 時：2009年6月12日（金）～14日（日）

6月12日（金）：午後から全国委員会・総会（文全協会員による会議。）

13日（土）：見学会（京都・宇治方面の遺跡を見学します。

事前の申し込みが必要です。）

14日（日）：大会（京都市内を会場に全国の都市遺跡の調査・保存・活用・整備について、報告があります。参加自由。）

恒例の文全協夏の見学会は「佐渡」をたっぷり3日間

世界遺産登録目指す「佐渡」を巡る旅を開催！

文全協では、毎年夏に2～3泊の遺跡見学会を行っています。今年は「佐渡」を巡る旅を行うことが決定しました。世界遺産への登録を目指す佐渡は、豊かな自然はもちろん、金銀山をはじめとした様々な時代の歴史・文化遺産もあり、全国からも注目されています。この企画には多くの人々の申し込みが殺到することは必至。文新協事務局では盛り沢山の見学地と、おいしい食事で県外の皆さんをお迎えしようと、計画中です。もちろん県内の方もご参加いただけます。詳細はのちほど『会報』・ホームページ等でお知らせします！

文全協09夏の見学会 佐渡の旅

～世界遺産登録を目指す島の歴史と文化を巡る～

日 時：2009年8月28日（金）～30日（日）

お待たせしました！ 春の遺跡見学バスツアー開催!!

蒲原の古墳・古代遺跡を体感する春のバスツアー

— 史跡整備進む古津八幡山遺跡を中心に —

日 時：5月17日（日）

日 程：9：00新潟駅南口集合（時間厳守）・出発

- 「大沢谷内遺跡」見学（調査の状況によって変更になる場合があります）
〈市内で唯一、滯足柵と同時期に存在することが認められた古代の集落〉
- 「石油の世界館」見学〈日本の産業を支えた新潟市の近代化産業遺産〉
- 「古津八幡山遺跡」見学・古代体験
〈復元された弥生の高地性集落と越後最大の古墳〉
- 「新潟県埋蔵文化財センター」見学〈新潟県埋蔵文化財調査事業団が行った調査成果が、時代や時期、テーマに沿って展示公開されています。〉
- 17：00新潟駅南口帰着（予定）

※全行程、中型観光バス（定員33名）を利用します。

見学地・行程・時間については、諸事情により変更する場合があります。

参加費：おひとり4,000円

（全行程のバス代、昼食、資料代、保険料、その他諸費用を含む）

「以前のように県内の遺跡見学会もやって欲しい！」・・・そんな声におこたえして、久しぶりの日帰りバスツアーを計画しました。今回は、なんと新潟市内の遺跡です。「新潟市内の遺跡なんて・・・」と侮る無かれ、旧新潟市内はもちろん、合併なった大新潟市には豊かな遺跡がたくさん！今回はその中でも秋葉区にある「今が旬」の遺跡を見学します。

今回の目玉は、もう皆さんおなじみの古津八幡山遺跡です。弥生時代の高地性集落、そして越後最大の八幡山古墳を有するこの遺跡は、地元市民を中心とした保存運動によって保存が決定し、最近では国史跡指定にともなって史跡公園としての整備が進行中です。弥生時代の竪穴住居はもちろん、集落を取り囲む環濠や土塁、そして方形周溝墓も復元整備され、弥生時代の高地性集落やお墓の姿を体感できるようになっています。これまで訪れたことのある方も、新しく整備されつつあるその姿に新たな発見があるはずです。また、昨年度からは遺跡を舞台にした古代体験の企画も盛んに行われています。この日も昔の道具を使った古代体験が行われる予定です。これにも参加して、遺跡を楽しみましょう。

このほかにも「石油の世界館」や「新潟県埋蔵文化財センター」（新潟県埋蔵文化財調査事業団職員による説明あり）で、当地はもとより新潟県内の歴史を学んでみたいと考えています。参加をご希望の方は、ハガキまたはメールで「住所、氏名、男女の別、年齢、電話番号」を明記の上、事務局までお申し込みください。先着30名で締め切りますが、申し込み多数の場合は文化財保存新潟県協議会会員（新潟県内の文化財保存全国協議会会員のことで）を優先させることがあります。参加者には、折り返し、参加要項をお送りいたします。また、申し込み後のキャンセルは、見学会費をいただく場合もありますので、あらかじめご了承ください。お申し込みはお早めをお願いいたします。

弥生・古墳講座* 第10回開催!

第10回学習会

古墳時代はいかにして越後の地に訪れたのか?

「越後における古墳の成立 (その2) ~前期古墳の展開~」

~甘粕健会長とともに~

日 時 : 2009年4月26日 (日) 13:30~16:00

場 所 : 新潟市歴史博物館 (みなとぴあ)

2階セミナー室 (新潟市柳島町2-10)

文新協連続講座「弥生・古墳講座」を開催します。今回は、前回に引き続き甘粕会長が越後における弥生時代から古墳時代への移行をテーマにお話しします。

前回12月21日(日)の学習会では、弥生時代の墓制が古墳時代の古墳にどのように移り変わっていったのかを、豊富な資料・スライドを用いながらお話しいただきました。しかし、盛り沢山の内容で時間が足りず、古墳文化の展開まで十分にお話しいただけませんでした。そこで、今回は「その2」と題して前回の続きをお話しいただくことにしました。弥生時代から古墳時代への移行、越後における古墳文化のはじまりとその展開について、前回紹介しきれなかったお話、貴重なスライド写真などを再びご用意いただき、じっくりと語っていただきます。もちろん前回の復習もしながら話を進めていただきます。第9回学習会を聞き逃した方も、ふるってご参加下さい。

連続講座が初めての方、専門的な話は難しくて・・・とおっしゃる方も、ぜひおいで下さい。参加希望の方は、当日直接会場へお越し下さい(みなとぴあの入場料は必要ありません)。事前申し込みは不要です。なお、当日、資料代として500円をいただきます。

編集後記

新しい年度を迎えました。春の陽気に誘われて、どこかに出かけてみたい・・・そんなウキウキした気分になりますね。そこで、文新協では久しぶりとなる遺跡見学日帰りバスツアーを計画しました。また、甘粕会長による「弥生・古墳講座」の第2弾も開催します。皆さん、ふるってご参加下さい。

この『会報』は文全協会員でなくても、文新協行事に参加された方には、可能な限りお送りしています(ご参加なき場合は郵送を取りやめる場合があります)。名簿は本会からの連絡にのみ使用し、個人情報保護に留意し厳正に管理しています。会報送付がご迷惑な方は、事務局までご一報下さい。

文化財保存新潟県協議会事務局 (入会についてのお問い合わせも)

ホームページ : <http://www10.ocn.ne.jp/~bunsin-k/>

E-mail : bun-sin-kyou96@lake.ocn.ne.jp